

内 容 説 明 書

1. 業務名

堀切北こ線橋定期点検他業務委託

2. 業務目的及び内容

あいの風とやま鉄道線と交差しているこ線道路橋等について、橋りょうの定期点検他を行うことを目的とする。

業務仕様内容については、国交省道路局国道・技術課「橋梁定期点検要領」（令和 6 年 7 月）、国交省道路局国道・技術課「橋梁定期点検業務等積算基準」（暫定版）（令和 5 年 3 月）、当社「営業線近接工事保安関係標準示方書」（平成 27 年 3 月）、当社「工務関係触車事故防止要領」（平成 27 年 3 月）により施工するものとする。

業務内容については、以下のとおり

（1）点検箇所（1 橋）・・・・・・下記は国交省の名称「 」は当社の名称

・堀切北跨線橋「堀切北こ線橋」（黒部・生地駅間 278k108m 付近）・・・・1 橋

（2）業務内容

勘定科目 工種等	工事種類	工 事 の 内 容	
		数量	
007300 受託工事勘定	堀切北こ線橋	1 式	・こ線道路橋点検業務 ・第三者被害防止処置を含む
	保安停電(夜間)	3 回	
	NF 防護管設置撤去	7 8 m	

（3）点検条件

点検条件としては、以下のようになっている。

1) 堀切北こ線橋

- ・点検作業は、あいの風とやま鉄道線の上下線において停電及び線路閉鎖工事（夜間）の施行を考えている。
- ・軌陸高所作業車、高所作業車等による点検を考えている。
- ・点検作業は、夜間の 3 日間を考えている。
- ・停電区間：魚津 SS～黒部 SSP

2) 保安要員

- ・列車見張員：片線線閉時は、現場見張員 1 名、隣接見張員 1 名による合計 2 名の配置を考えている。
- ・交通整理員(有資格者)：上り線側高所作業車使用の際には道路片側交通とし、規制時に 2 名の配置を考えている。

3) 橋梁点検員

橋梁点検員は点検作業班を総括し、安全管理に留意して、各作業員の行動を把握するとともに点検補助員との連絡を密にして点検調査を実施する。橋梁点検員は損傷状況の把握を行う

のに必要な能力と実務経験を有するものとする。本業務に従事する者は、次のいずれかの資格等を満たさなければならない。

- ・技術士（総合技術監理部門－建設、又は建設部門）の資格を有する者。
- ・国土交通省登録技術資格（「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に関する技術者資格登録規定（平成26 年国土交通省告示第1107 号）」）に基づいて、技術者資格登録簿に登録された資格（施設分野：橋梁（鋼橋）－業務：診断又は及び）又は、（施設分野：橋梁（コンクリート橋－業務：診断）を有する者。
- ・点検は、施工会社の保安体制の下で点検を実施するが、点検者のうち1名は、工事管理者（当社の特情教育を受講した者）の有資格者を配置するものとする。

（４）計画業務（準備）

線路内に立ち入る際には当社の「営業線近接工事保安関係標準示方書」に基づき、保安要員を配置して実施するものとする。（安全講習を受講したもの。）

（５）成果品業務

- ・設計協議

発注者及び関係者（国土交通省北陸地方整備局等含む）と打ち合わせ協議等を行う。

- ・報告書作成

本業務の成果品については、点検した業務の内容をまとめ報告書を作成する。

点検結果は「橋梁定期点検要領」（令和6 年7 月）等に従い全国道路施設点検データベースに点検結果を入力し報告書を作成すること。

- ・成果品の内容は、以下の通り。

① 報告書：3 部 ② 電子成果品（CD）：3 部

② 電子成果品の納品については、提出前に最新のウイルス対策ソフトを用いてウイルスが混入していない事を確認するものとする。

以上